イーロン・マスクがロケット製作を勉強した方法

世界一の起業家と謳われるイーロン・マスクは大学時代に経済学と物理学を専攻していました。ですので、ロケット製作に関する知識があったとは到底言えないわけです。

しかし、ロケット発射後の記者会見はイーロン・マスクが行い、マスク氏はその記者会見では失敗の要因を毎回、饒舌に説明出来ているのはマスク氏がロケットサイエンスを理解しているからでしょう。

では、マスク氏はどうやってロケット製作の知識を身に付けたのでしょうか？

マスク氏のロケット会社である、スペースXが発足した当初にマスク氏のメンターであったJim Cantrell氏曰く、イーロン・マスクはロケット製作に関するありとあらゆる本を読み漁り、ロケット製作界の重鎮たちと話す中でロケット製作を学んだそうです。

そして、マスク氏はロケット工学の全てをマスターする事は出来ないと分かっている謙虚さを持っていました。だからこそ、ロケット工学の重鎮たちに頼り、話を極限まで集中して聞き、マスター出来ない分野は重鎮たちを雇って任せると言う具合に効果的に採用を行いました。

あなたは、何かの学問を習得するために、「じゃあ、学校に行って、証明書をもらって」と言う風に考えますか？

そんな事をする必要は無いのです。マスク氏が行ったように、本を読み漁り、専門家に話を聞けば、あなたはその学問のマスターになる事も出来るのです。